

日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準の改定について

日本経済新聞社は、本年 5 月 18 日から 6 月 15 日まで「日経平均株価の構成銘柄選定におけるセクターに関するコンサルテーション」を実施しました。本コンサルテーションでお尋ねした質問のいずれについても、皆様からいただいたご意見で賛成が多数であったことから、今回提起した改定について賛同が得られたものと判断し、別紙 1「日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準の改定の詳細」のとおり日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準を一部改定します。

本改定は 2026 年 10 月 1 日より適用します。2026 年秋に実施する定期見直しはこれらの改定を反映して実施します。

また、本コンサルテーションでは「日経平均の指標性を維持するため変更した方がよいと考える点」についてもお尋ねしたところ、多数の意見をいただきました（別紙 2「Q4 でいただいた主なご意見」を参照）。いただいたご意見を踏まえ、今後も指数の品質向上を目指した改良を検討していきます。



なお、本改定にあわせて、業種別日経平均株価の「通信」を「情報通信」に名称変更します。

ニュースタグ：重要なお知らせ、コンサルテーション、日経平均、日経 500 平均

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 インデックス事業室 (index@nex.nikkei.co.jp)

別紙1：日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準の改定の詳細

<算出要領>

【2. 銘柄の管理（2）定期見直し ③セクターバランスによる採用・除外】

変更前	変更後
日経業種分類の36業種を、「技術」「金融」「消費」「素材」「資本財・その他」「運輸・公共」の6つのセクターに集約し、このセクター間で「高流動性銘柄群」に属する構成銘柄数がバランスするように除外・採用を行う。この際に、上記②による採用、除外銘柄数に配慮しながら、構成銘柄数が225銘柄となるように入れ替え銘柄数を調整する。セクターバランスによる採用・除外の基本的な考え方は以下のとおり。 <後略>	日経業種分類の36業種を、「技術」「<u>情報通信</u>」「金融」「消費」「素材」「資本財・その他」「運輸・公共」の7つのセクターに集約し、このセクター間で「高流動性銘柄群」に属する構成銘柄数がバランスするように除外・採用を行う。この際に、上記②による採用、除外銘柄数に配慮しながら、構成銘柄数が225銘柄となるように入れ替え銘柄数を調整する。セクターバランスによる採用・除外の基本的な考え方は以下のとおり。 <後略>

【2. 銘柄の管理（2）定期見直し ④同一セクター内での採用・除外】

変更前	変更後
<u>(新設)</u>	<u>同一セクター内で市場流動性に基づき銘柄の採用・除外を行う。基本的な考え方は以下のとおり。</u> <u>i) 7つのセクターごとに、既採用銘柄のうち市場流動性順位が最も低い銘柄と、未採用銘柄のうち市場流動性順位が最も高い銘柄との順位差を算出する。</u> <u>ii) 順位差が最大となったセクターにおいて、既採用銘柄のうち市場流動性順位が最も低い銘柄を除外し、同セクターの未採用銘柄のうち市場流動性順位が最も高い銘柄を採用する。</u>

ニュースタグ：重要なお知らせ、コンサルテーション、日経平均、日経500平均

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 インデックス事業室 (index@nex.nikkei.co.jp)

<構成銘柄選定基準>

【(2) 定期見直し基準 ④セクターバランスを考慮した銘柄の採用・除外】

変更前	変更後
1)「高流動性銘柄群」に属する銘柄を、業種分類に基づく<u>6</u>つのセクター、「技術」「金融」「運輸・公共」「資本財・その他」「消費」「素材」に分類し、各セクターを構成する銘柄の半数を、セクターごとの「採用妥当数」とします。 <中略> 3)セクター分類は、日経業種分類・中分類（36業種）をもとに、以下の業種により構成されます。このセクター分類、構成業種については、今後の産業構造変化などを考慮して見直すことがあります。 技術 ：<u>医薬品</u>、電気機器、自動車、精密機器、<u>通信</u> <u>(新設)</u> 金融 ：銀行、その他金融、証券、保険 消費 ：水産、食品、小売業、サービス 素材 ：鉱業、繊維、紙・パルプ、化学、石油、ゴム、窯業、鉄鋼、非鉄金属、商社 資本財・その他：建設、機械、造船、輸送用機器、その他製造、不動産 運輸・公共 ：鉄道・バス、陸運、海運、空運、倉庫、電力、ガス	1)「高流動性銘柄群」に属する銘柄を、業種分類に基づく<u>7</u>つのセクター、「技術」「<u>情報通信</u>」「金融」「運輸・公共」「資本財・その他」「消費」「素材」に分類し、各セクターを構成する銘柄の半数を、セクターごとの「採用妥当数」とします。 <中略> 3)セクター分類は、日経業種分類・中分類（36業種）をもとに、以下の業種により構成されます。このセクター分類、構成業種については、今後の産業構造変化などを考慮して見直すことがあります。 技術 ：電気機器、自動車、精密機器 <u>情報通信</u> ：<u>情報通信</u> 金融 ：銀行、その他金融、証券、保険 消費 ：水産、食品、<u>医薬品</u>、小売業、サービス 素材 ：鉱業、繊維、紙・パルプ、化学、石油、ゴム、窯業、鉄鋼、非鉄金属、商社 資本財・その他：建設、機械、造船、輸送用機器、その他製造、不動産 運輸・公共 ：鉄道・バス、陸運、海運、空運、倉庫、電力、ガス

【(2) 定期見直し基準 ⑤同一セクター内での採用・除外】

ニュースタグ：重要なお知らせ、コンサルテーション、日経平均、日経 500 平均

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 インデックス事業室 (index@nex.nikkei.co.jp)

変更前	変更後
(新設)	1) 7つのセクターごとに、既採用銘柄のうち市場流動性順位が最も低い銘柄と、未採用銘柄のうち市場流動性順位が最も高い銘柄との順位差を算出します。 2) 順位差が最大となったセクターにおいて、既採用銘柄のうち市場流動性順位が最も低い銘柄を除外し、同セクターの未採用銘柄のうち市場流動性順位が最も高い銘柄を採用します。

なお、算出要領および構成銘柄選定基準の記述で、実質的な変更を伴わない字句修正については省略しています。詳細は改定後の算出要領および構成銘柄選定基準をご確認ください。

ニュースタグ：重要なお知らせ、コンサルテーション、日経平均、日経 500 平均

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 インデックス事業室 (index@nex.nikkei.co.jp)

別紙2：Q4でいただいた主なご意見

本コンサルティングでは「Q4：その他、日経平均の指標性を維持するために変更した方がよいと考える点があればお書きください。」にて、多数のご意見をいただきました。主なご意見は以下のとおりです。

(証券・金融関係) 流動性計測で直近の動きや売買代金増加を加味するなら、過去5年間と過去1年間の売買代金の各順位の平均とする方法なども考えられる。高流動性450銘柄や市場流動性順位などのデータを提供の方が良い。構成銘柄のウエート上限は、パッシブファンドの買い需要の時価総額比率で考えるべき。
(証券・金融関係) 本見直しにより銘柄入替が恒常的に発生する可能性がある点について、指数の安定性や長期的な投資指標としての特性への影響を注視すべき。入替に伴う市場需給の偏りやコスト増加が懸念されるため、①入替ルールおよび基準の一層の透明化、②入替候補銘柄や想定変更内容の早期開示による予見可能性の向上、③必要に応じた段階的な入替(市場影響の平準化)についても対応を検討してほしい。
(証券・金融関係) 一部で指摘がある特定の業種・銘柄へのウエート集中については、日本市場の中で成長を評価されてきた企業の株価パフォーマンスを反映しているという側面もあり、指数としての連続性の観点でも構築手法を大幅に見直す必要はないと考える。一方で相場動向を測る指標性を損なう懸念などに繋がる可能性があるため、さらなるウエート集中を回避するための措置を引き続き検討してほしい。
(証券・金融関係) 2021年の新ルール以降、指数採用時のウエート1%上限により株価換算係数を付与した銘柄については、以後の指数定期見直しの際に株価換算係数を引き上げるようなルールの制定が望ましい。
(証券・金融関係) 指数利用者の実務対応を円滑にする観点から①新セクター分類を過去の定期見直しに適用した場合の参考試算・バックテストの開示、②移行時の取扱いや定期見直し時の具体的な適用順序等の情報提供、③分類変更による即時影響と将来的な採用・除外への影響を分けた説明、を実施してほしい。
(証券・金融関係) 新規採用銘柄の株価換算係数の段階的引き上げは、次回定期入替を待たず臨時での対応も検討に値するのでは。また構成銘柄の見直しの手順では市場流動性の計測期間を5年としているが、上場後5年に満たない銘柄も採用されている。どのような場合に採用されるかルールに明記した方がよい。
(自営業・個人・その他) 日経平均株価の代表性・分散性を高めるため、構成比率の上限・下限や株価換算係数の設定方法の見直しを検討すべき。
(自営業・個人・その他) 従来の日経平均株価に加え、経済安保や先端成長分野などの新しい株価指数をつくってはどうか。

ニュースタグ：重要なお知らせ、コンサルティング、日経平均、日経500平均

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 インデックス事業室 (index@nex.nikkei.co.jp)